

## 業績の推移

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受注高	1,814,217	1,480,867	2,004,030
税引前利益	64,307	38,919	157,367
当期利益	42,221	27,103	101,841

当期における建設業界をとりまく営業環境は、県北沿岸広域地区では復興事業と直近2度に亘る台風災害復旧事業予算に依存しているところが大であります。

当社の受注額・兼業売上高におきましては、前年同期より523,163(千円)増の2,004,030(千円)となりました。

売上増に転じた要因として、比較的請負金額が大きく工期も長かった工事が今期にまとまったことと認識しております。

今後の見通しにつきましては、一段落しつつある震災復興・災害復旧等の公共工事の減少予算や、新規若年入職者・労働者を含めた労務の過小状況が懸念されることで、受注高の確保は更に厳しさを増すものと予想されます。

今後は、販管費・固定費の削減に努め、引き続き台風被害による災害復旧工事に寄与貢献するとともに、とび・土工・解体含め民間工事の受注に鋭意努力してまいります。

このような状況下におきまして、当社は経営の合理化をはかり、経営基盤を確立しそして地域経済の発展、社業の向上のために創造的な経営をなすべく、役職員一同努力していく所存でございます。